

# 予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

## 事業名 県民総合相談窓口業務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 管理調整係

電話番号：058-272-1111 (内 2982) E-mail：[c11261@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11261@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 補正要求額 13,713 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費    | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |        | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 0      | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 要求額 | 13,713 | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 13,713     |
| 決定額 | 12,300 | 0          | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 12,300     |

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス発生により、県民から、健康相談、休業要請などに対する支援に関する相談、事業者の業務再開に関する相談など、多岐に渡る質問があり、その所管課についても多岐に渡る。

そのため、県民からの相談に対し、適切な窓口へ繋ぐワンストップの相談窓口を作る必要がある。

また、今後の発生状況による各種施策に対応するため、備える必要がある。

#### (2) 事業内容

県民からの相談に対し、適切な窓口を案内し、円滑に業務を行うことができるよう、電話対応業務の専門的な知識を有する外部の専門業者に委託する。

#### (3) 県負担・補助率の考え方

県が実施する対策に関する相談についての窓口のため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

### 3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額     | 事業内容の詳細    |
|------|--------|------------|
| 委託料  | 13,713 | 県民総合相談窓口委託 |
| 合計   | 13,713 |            |

#### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

|  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

県民からの相談に対し、適切な窓口を案内する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 |  | 現在値<br><small>（前々年度末時点）</small> | 目標 | 達成率 |
|-----|-------|-------|--|---------------------------------|----|-----|
|     |       |       |  |                                 |    |     |

### ○指標を設定することができない場合の理由

相談窓口の設置であるため、具体的な指標を設定できない。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|   |  |
|---|--|
| ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）<br>○：必要性が高い      △：必要性が低い                            |  |
| ○   | 多岐に渡る相談に対し、適切な窓口を案内し、県民の要望に応えるため必要である。 |
| ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）<br>○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている<br>△：まだ期待どおりの成果が得られていない |  |
| (評価)  |  |
| ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）<br>○：効率化は図られている      △：向上の余地がある                          |  |
| (評価)  |  |

### (今後の課題)

|                     |
|---------------------|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 |
|---------------------|

### (次年度の方向性)

|  |
|--|
| ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか |
|--|